

報道関係各位

Rainmaking Innovation Japan 合同会社
 さくらインターネット株式会社
 株式会社 JR 西日本イノベーションズ
 阪急電鉄株式会社(業務代行者：阪急阪神不動産株式会社)
 株式会社 読売新聞大阪本社

世界から選抜した新興企業の成長を促進

「Startupbootcamp Scale Osaka」始動！

～国際的なスタートアップ※1交流拠点としての大阪・関西の発展を目指して～

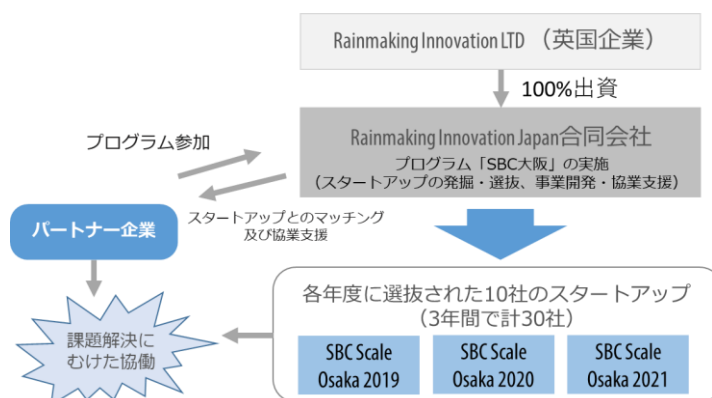
さくらインターネット株式会社、株式会社 JR 西日本イノベーションズ、阪急電鉄株式会社(業務代行者：阪急阪神不動産株式会社)、株式会社読売新聞大阪本社など7社は、世界的なベンチャー支援大手、Rainmaking (レインメイキング) グループとともに、世界の有望なスタートアップを選抜し、日本市場等での成長を促進するプログラム「Startupbootcamp Scale Osaka」(スタートアップブートキャンプ・スケール・大阪、以下 SBC 大阪) を大阪・関西で開始します。

「Startupbootcamp」は、英国に拠点を置く Rainmaking Innovation LTD が運営する欧州最大級のプログラムで、これまで世界18都市で開催実績を有しており、日本では初めての開催となります。「**Smart City & Living (次世代都市と未来の暮らし)**」をテーマに、大阪・関西を拠点に3年間(1年間1サイクルとして計3回)にわたり開催します。

初年度は「**Mobility、Living、Health & Wellbeing、Tourism**」をサブテーマとして、Rainmaking グループが世界的なネットワークを活用し、ミドルステージ※2以降のスタートアップを対象に300社以上の企業を募集します。その中から、パートナー企業とともに10社程度を選抜し、各社が持つ豊富なリソースを活かした育成の支援や実証実験、協業などを行い、成長を加速させることを支援します。

本プログラムを契機として、海外の有望なスタートアップや世界中のスタートアップ・コミュニティとの結びつきが強まり、大阪・関西が国際的なスタートアップ・ハブへと成長する一助となることを願っています。

プログラムの事業スキーム



※1 スタートアップ：世界では一般的な新興企業の呼称。日本では「ベンチャー」と呼ばれることが多い。

※2 ミドルステージ：事業が軌道に乗りつつある新興企業の成長段階。これより前は「シードステージ」「アーリーステージ」などと呼ばれる。

■プログラム概要

プログラム名	Startupbootcamp Scale Osaka
実施主体	Rainmaking Innovation Japan 合同会社
パートナー企業	さくらインターネット株式会社 株式会社 JR 西日本イノベーションズ 株式会社電通 日本たばこ産業株式会社 阪急電鉄株式会社（業務代行者：阪急阪神不動産株式会社） 株式会社三井住友銀行 株式会社読売新聞大阪本社 (計7社)
テーマ	Smart City & Living
初年度サブテーマ	Mobility、Living、Health & Wellbeing、Tourism
初年度スケジュール	2019年6月～2020年5月（予定）
実施場所	GVH#5（阪急ファイブアネックスビル）他
参加スタートアップ 募集ウェブサイト	https://www.startupbootcamp.org/accelerator/scale-smart-city-living-osaka/
後援	一般社団法人関西経済同友会、公益社団法人関西経済連合会、日本貿易振興機構 大阪本部
協力	大阪府、大阪市、大阪商工会議所

■Rainmaking Innovation Japan 合同会社 概要

所在地：大阪府大阪市北区角田町1番12号 阪急ファイブアネックスビル

設立日：2019年3月20日

代表者：アレックス・ファーセット

事業内容：新規事業及び事業開発に関するコンサルティング

事業会社とスタートアップの協業支援

スタートアップに対する投資及び経営指導

海外スタートアップの国内進出支援

【別添資料】

- ・大阪府知事、大阪市長からのコメント
- ・「Startupbootcamp」について

【ニュースリリース配布先】

青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、国土交通記者会

【本リリースに関するお問い合わせ先】

・阪急電鉄株式会社 広報部

TEL：06-6373-5092

以上

■大阪府知事からのコメント

世界中のスタートアップの成長を支えている Startupbootcamp が、ここ大阪において日本で初めて開催されることは、大阪産業の成長にとって、大きなチャンスであり、大変嬉しく感じています。

大阪府とベンチャーエコシステム連携協定を結ぶ阪急阪神不動産をはじめとする7社のご尽力によるものと、深く敬意を表します。

大阪府のスタートアップ数は東京都に次いで全国で2番目です。現在は、梅田を中心に、スタートアップの活動拠点施設やイベント、大学のスタートアップ教育などが盛んになっており、大阪・関西は、全国でも一二を争うスタートアップの集積都市です。また、2025年の大阪・関西万博をはじめ、うめきた2期開発など内外のスタートアップを呼び込むビッグプロジェクトも目白押しです。

こうした中、大阪府は、大阪市や堺市、経済団体などとともに、「大阪ベンチャーエコシステム推進連絡会議」を設置し、オール大阪でスタートアップの支援に取り組んでいます。また、4月には、大阪府・市で大阪産業局を発足させており、今後は、この産業局がプラットフォームとなって、スタートアップ支援を加速させていきます。

今回の「Startupbootcamp Scale Osaka」により、イノベーションによる革新的なビジネスモデルが創られ、大阪経済の活性化につながる大きな成果が生み出されることを期待しています。

大阪府知事 吉村 洋文

■大阪市長からのコメント

このたび、Startupbootcamp が日本で初めて、大阪で開催されることを大変嬉しく思っております。

大阪市では、世界中の英知が結集する「イノベーション都市」としての魅力向上をめざし、うめきたの「大阪イノベーションハブ (OIH)」を拠点に国内外のスタートアップや大学、企業、投資家などが連携したイノベーションの創出を支援してまいりました。

また、うめきた2期区域のまちづくりにおいては、「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、大阪府や関西経済連合会、大阪商工会議所等とともに「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」を設置し、世界をリードするイノベーション拠点の形成に向けた取組みを進めているところです。

大阪・関西においては、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「未来社会の実験場」をコンセプトとして、2025年日本国際博覧会が開催されることから、今後、世界中の知見、最先端技術、人材、資金の大阪への集積が加速度的に進むと思われま。

Startupbootcamp を主催する世界的なアクセラレーターである Rainmaking グループは、本年3月に経済産業省、日本貿易振興機構 (JETRO) とともに大阪で開催した地域への対日直接投資カンファレンス (Regional Business Conference) に招へいしており、このたび、日本初の拠点を大阪に設立することとなりました。本プログラムの始動により、海外の有望なスタートアップの誘致や世界中のスタートアップ・コミュニティとの結びつきが一層強まり、大阪のイノベーション都市としての魅力がさらに高まることを期待しております。

今後とも、大阪・関西におけるイノベーション創出に取り組んでまいりますので、本プログラムを通じて、ご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪市長 松井 一郎

■ 「Startupbootcamp」について

「Startupbootcamp」とは、英国に拠点を置く Rainmaking Innovation LTD が運営する欧州最大級のアクセラレーション（事業開発促進）プログラムです。全世界のスタートアップと開催都市のパートナー企業との協業を支援することを目的とし、これまで世界 18 都市でのプログラム開催と 700 社以上のスタートアップ支援実績を有しています。

Startupbootcamp の開催都市一覧



その特長として、

- ①開催都市ごとに特定のテーマ（産業領域）を設定し、全世界から当該テーマに特化したスタートアップを募集
- ②世界の複数都市でのスカウティングイベント等を通してスタートアップを発掘
- ③開催都市の様々な関係者（投資家・各専門家など）が参画する支援ネットワークづくりなどが挙げられます。

SBC 運営本部(Rainmaking Innovation Japan 合同会社)は、半年間をかけて世界から有望企業を集め、パートナー企業と共に大阪に招致する約 20 社を決定し、最終的に 10 社程度を選抜します。

その後、3 ヶ月間をかけて、選抜したスタートアップに対するマーケティングやセールスプロモーションなどに関するレクチャーや、パートナー企業との実証実験、協業に向けたディスカッションなどを行い、最終的にデモデイ（成果発表会）を開催し、国内外の事業会社やメディア、投資家などに対してプログラムの成果を発信します。

プロジェクトの流れ

選抜期間（6ヶ月）

- ・パートナー企業によるプログラムのテーマ選定
- ・応募のためのWebページの開設
- ・複数都市での事業発表会を通じたスタートアップの発掘
- ・パートナー企業によるプログラム参加スタートアップの選抜 等

プログラム実施期間（3ヶ月）

- ・選抜されたスタートアップに対する日本市場での事業拡大のためのマーケティングやセールスプロモーション等に関するレクチャー
- ・選抜されたスタートアップとパートナー企業との実証実験、協業に向けたディスカッション等
- ・デモデイ（成果発表会）の開催

予備期間（3ヶ月）

- ・パートナー企業との実証実験、協業に向けた追加の協議
- ・本年度プログラムのフィードバック及び次年度のプログラムに向けた協議